

いなざわ 議会だより

No.200

11 2023年
月号



TOPICS

議員紹介	2
9月定例会の報告	4
質疑・一般質問	5
9月定例会議決結果	10
10月臨時会の報告	11
政務活動費収支報告	12

稲沢市議会

検索



<http://www.city.inazawa.aichi.jp/gikai/index.html>

表紙：新体制の市議会（10月4日撮影・議場にて）

新しい市議会がスタート!!

1



小柳 彩子・1
こやなぎ さいこ

祖父江町四貫
0587-97-6635

2



平野 泰弘・1
ひらの やすひろ

祖父江町二俣
080-3687-3240

3



山田 崇夫・1
やまだ たかお

高御堂
info@yamadatakao.com

4



大野 紀之・1
おおの のりゆき

下津片町
n.ohno.1730@gmail.com

5



鵜野 大助・1
うの だいすけ

大塚南
0587-24-1465

6



土岐 優子・1
とぎ ゆうこ

祖父江町四貫
tokiyuko.official@gmail.com

7



平床 健一・2
ひらとこ けんいち

下屋
0587-81-3509

8



平野 賀洋子・2
ひらの かよこ

平和町西光坊
0567-46-0480

9



杉山 太希・2
すぎやま たいき

西島
0587-36-0828

10



日比野 貴子・1
ひびの たかこ

船橋町
t.hibino0721@gmail.com

11



鈴木 純子・1
すずき じゆんこ

稲沢町
try.suzuki15@gmail.com

12



岡野 次男・2
おかの つぎお

下津北山
0587-24-3362

13



服部 俊夫・1
はっとり としお

井之口四家町
0587-32-8184

14



北村 太郎・2
きたむら たろう

北島
taro.kitamura27@gmail.com

15



黒田 哲生・2
くろだ てつお

祖父江町祖父江
0587-97-0046

16



近藤 治夫・2
こんどう はるお

北市場本町
090-2186-9546

9月24日に執行された稲沢市議会議員選挙で当選した議員 26名を紹介します。

任期:令和5年10月1日~令和9年9月30日

17



津田
敏樹・3

祖父江町三丸渚
0587-97-0355

18



服部
礼美香・3

井堀下郷町
0587-36-2966

19



吉川
隆之・4
(1)

祖父江町山崎
0587-97-3620

20



木村
喜信・5

奥田白山町
0587-22-0248

21



六鹿
順二・5

正明寺
0587-21-2568

22



栃本
敏子・6

下津片町
0587-23-6274

23



志智
央・3

祖父江町森上
090-4239-4726

24



木全
信明・4

稲島
0587-32-3772

25



星野
俊次・6

駅前
0587-32-9905

26



曽我部
博隆・5
(4)

祖父江町本甲
0587-97-6105

議席
番号

氏名・期数
(※1)

住所(※2)
連絡先

※1:()内の数字は
旧2町議員としての
期数
※2:町字までの記載

市民の皆様のご期待にお応えできるよう、市民の代表
として議会活動を通じ、稲沢市の発展と市民生活の
向上のために最善を尽くしていきます。
これから4年間よろしくお願いいたします。

今定例会では、市長提出議案が31件提出されました。
議決結果は10ページをご覧ください。
ここでは一般会計補正予算及び令和4年度決算審査について紹介します。

議案第63号 令和5年度稲沢市一般会計補正予算(第4号)

…補正額 6億3,241万円

(これにより一般会計予算の総額は、507億4,998万円となりました。)

※万円未満切り捨て

新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る経費の増額

予防接種委託料…1億4,735万円

予防接種体制運營業務委託料等事務費… 9,564万円

従来株ワクチンを2回以上受けた5歳以上の方を対象とした、オミクロン株対応ワクチン接種事業に係る経費で、9月から12月の接種期間で医療機関での個別接種を予定しています。

道路舗装改良工事費・水路整備工事費・ 道路維持管理に係る修繕料の増額

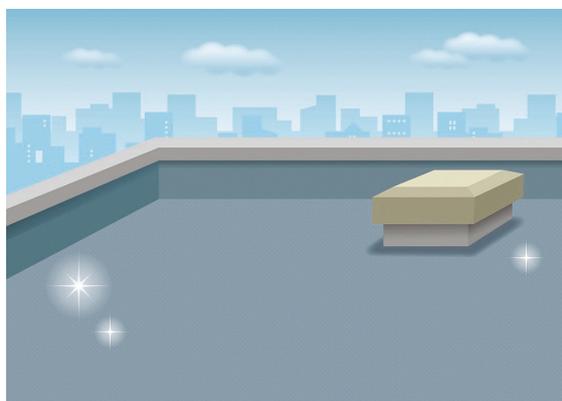
…2億5,000万円

市街化区域内における側溝有蓋化事業や生活道路、水路施設の整備・補修を促進します。

小学校屋根防水改修工事費の増額

…1,960万円

台風2号の影響で被害を受けた山崎小学校と六輪小学校の屋根防水改修に係る工事費です。



おかげさまで65周年感謝祭の開催に係る 経費

…885万円

11月4日に市役所駐車場で開催する市民感謝祭の経費で、ご当地グルメイベントやステージイベントのほか、キッチンカー等を会場に設置します。



いなざわ
稲沢市制65周年

公募によって決定した
記念のロゴマーク

若年がん患者在宅療養支援事業費補助金

…64万円

40歳未満の若年がん患者が、在宅で療養生活をするための経済的負担の軽減を図ります。

令和4年度各会計決算を認定

一般会計等の9会計の決算について審議しました。
認定された決算の概要は次ページの表のとおりです。

各会計決算総括表

(単位:円)

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	55,132,814,305	51,357,746,128	3,775,068,177
特別会計			
国民健康保険	12,471,595,107	12,267,530,935	204,064,172
介護保険	9,906,556,554	9,382,778,361	523,778,193
後期高齢者医療	3,972,092,856	3,891,046,834	81,046,022
稲沢西土地地区画整理事業	500,581,357	103,728,030	396,853,327
小計	26,850,825,874	25,645,084,160	1,205,741,714
一般会計・特別会計	81,983,640,179	77,002,830,288	4,980,809,891

会計名	収入額	支出額	差引額		
企業会計	病院事業	収益的	7,789,278,332	7,098,305,465	690,972,867
		資本的	1,220,764,000	1,318,250,366	(※注) 0
	水道事業	収益的	2,887,653,064	2,296,441,142	591,211,922
		資本的	904,131,694	2,684,887,306	(※注) 0
	公共下水道事業	収益的	1,942,754,890	1,820,133,311	122,621,579
		資本的	1,399,807,891	2,246,761,543	(※注) 0
	集落排水事業	収益的	274,437,062	333,644,772	△59,207,710
		資本的	72,119,307	72,119,307	0

(※注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定保留金等で補填しました。

Q…… 議員の質問
A…… 市の答弁

質疑・一般質問 Q&A



市政を問う 一般質問

一般質問とは、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限って行われます。

今定例会では、8人の議員が質疑・一般質問を行いました。ここではその質問と答弁の概要をお伝えします。

なお、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧ください。

8議員が登壇

- ・東野靖道 議員
- ・北村太郎 議員
- ・岡野次男 議員
- ・加藤孝秋 議員
- ・星野俊次 議員
- ・曾我部博隆 議員
- ・平床健一 議員
- ・網倉信太郎 議員

※発言順



道路整備について

創生会
東野 靖道 議員



Q 名鉄本線の鉄道高架化は、東西交通の渋滞解消の最善策だと思うが、鉄道高架化の凍結により、東西の都市計画道路、祖父江稲沢線、春日井稲沢線、稲沢西春線の整備に影響はあるか。整備の現状と見通しは。

A 祖父江稲沢線は、今年度から未整備区間の用地取得を開始し、その後工事着手となり工事期間は概ね10年を想定している。春日井稲沢線及び稲沢西春線は、県に整備を要請しているが、まずは祖父江稲沢線に注力し、めどが立ち次第、大垣街道踏切における著しい交通渋滞解消のため、次期整備路線として

見据えるとの回答であった。

Q 稲沢西春線の一宮市域の国道22号までの未整備区間の整備については、通り抜け車両の減少が期待できるため、下津地区の住民にとっては、早期の事業着手が望まれる。整備促進に向けた愛知県や一宮市に対する最近の要望活動の状況は。

A 愛知県に対し、早期の事業化に係る要望書を毎年提出している。また、令和2年度には、市長自ら一宮市長を訪問し、文書と共に一刻も早い事業化をお願いした。一宮市長からは、地元住民の対応に苦慮していると伺っているが、引き続き県・一宮市に対し、粘り強く要望していく。



こども政策について

創生会
北村 太郎 議員



Q こども政策は、各分野で横断的な対応が求められるが、本市の担当課は。また、取り組み状況は。

A こども家庭庁から発出されるこども政策関連の情報については、子育て支援課が窓口となっているが、内容に応じて関係課と情報共有を行い、連携を取って対応している。今後、こども家庭庁からは、様々な具体的施策が示されると考えており、全ての人がこどもや子育て中の方を応援する「こどもまんなか社会」の実現に向け、引き続き関係各課と連携してこども政策の推進に努めていく。

Q 本市のこども家庭センターの設置に向けた取り組みは。また、子育てに支援が必要な方への選択肢を増やすための地域との連携についてどう考えるか。

A 児童福祉と母子保健を一体的に支援するため、職員配置等の調整を進め、令和6年度から中央子育て支援センターを拠点として業務を行う予定である。また、様々な支援ニーズに対応するためには、行政が提供するサービス以外にも、民間団体と連携しながら支援体制の充実・強化を図っていくことが必要となる。今後は、こどもの居場所づくりや地域ボランティアなど、地域資源の把握に努めるとともに、民間団体や行政機関との連携を密に取り、新たな支援の選択肢を増やしていきたいと考えている。





改正後のコミュニティバスの課題と対策について

市民クラブ
岡野 次男 議員



Q コミュニティバスや接続便の利用者を増やすために、どのような取り組みを行うのか。

A 市民アンケート調査では、「バス停留所を限定して所要時間を短縮し、増便して欲しい」、「各地域から量販店等へ短い時間で結んで欲しい」といった要望を多くいただいております。これらの意見を基に、本年4月のバス路線の見直しに至った。今後も、先進地の交通事業に関する取り組みなどを調査・研究し、より良い地域公共交通の実現に向けて取り組んでいく。

Q 下津・大里線は市長の地元の路線でもある。地元の方から市長にどのような声が届いているか。

A 以前からJR清洲駅に停留所が欲しいとの声を聞いている。踏切の閉鎖時間が長く時刻表通りの運行ができないという理由で否定的な返答をしてきた。しかし、現在、JR清洲駅の土地区画整理事業が進んでおり、駅前広場が整備される予定であるため、整備後には、バス停を設置し、JR清洲駅からリーフウォーク等への路線ができないか考えている。また、名鉄大里駅に接続便の乗り場を設置することについては、住民の方の意見を聞き、地域公共交通会議での議論を重ね、改善していきたいと考えている。



人口減少対策について

公明党稲沢市議団
加藤 孝秋 議員



Q 市の人口減少傾向が進む大きな要因は、未婚率の上昇や出生数の減少にあると思う。状況の改善には自治体による婚活支援事業が有効だと考えるが、若い世代を中心に利用が広がるマッチングアプリについて、市の考えは。

A 本市の婚活支援事業については、今年度も引き続き2回の開催を予定しており、これまでに3組の成婚の報告があった。出会いの場を提供する上では、マッチングアプリは有効な手段の一つだと考えており、先進自治体の状況を注視し、引き続き出会いの場の提供を図

り、婚活支援事業に取り組んでいきたい。

Q 「こども未来戦略方針」が閣議決定されたが、市の今後の子育て支援施策と市独自の支援策についての考えは。

A 「こども未来戦略方針」では、少子化対策の基本的な方向性が示されており、今後具体化される施策を着実に実施していきたい。家庭の状況やライフステージに関わらず、多様な支援ニーズにきめ細かく対応するため、行政からアプローチする、伴走型支援・プッシュ型支援が重要だと考えており、市内外の方から、子育てしやすい街として、居住先に選んでもらえるよう、市独自の子育て支援施策の拡充に努める。





温暖化対策と 熱中症予防について

市民クラブ
星野 俊次 議員



Q 愛知県の10年間における平均気温の変化と本市の温室効果ガス排出量の推移は。

A 県の平均気温は、2013年は16.4度、2022年は16.9度と、10年間で0.5度上がっており、上昇傾向にある。また、本市の温室効果ガス排出量は、2013年度と比べると2018年度は約8%減っており、減少傾向にある。

Q 2018年度から2022年度の熱中症の市内搬送者数は。

A 2018年度は114人、2019年度は99人、2020年度は107人、2021年度は54人、

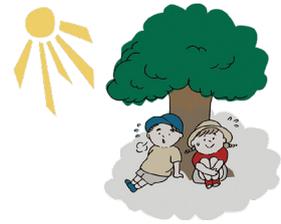
2022年度は90人である。

Q 市の公共施設を熱中症予防休憩所として開設できないか。

A エアコンが入っている、座って休憩ができることを休憩所の要件とし、開設に向けて調整していく。また、趣旨に賛同していただける店舗などを募っていく。

Q 本市の地球温暖化対策の取り組みは。

A 地域への再生可能エネルギー導入のため「稲沢市地域再エネ導入戦略」を令和4年度に策定した。今年度は、アンケート結果等を参考に「稲沢市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定する。



保育園、小中学校の 給食費について

曾我部 博隆 議員



Q 保育園の主食費は全額市が負担し、副食費は保護者が負担している。副食費も全額市が負担し、幼稚園等にも同等の補助をした場合の市の負担額は。また、小中学校の給食費を無償とした場合はどうか。

A 保育園、認定こども園、幼稚園は、合わせて約2,450人が対象で、年間約1億4,000万円となる。学校給食費は、小学校で年間3億8,100万円、中学校で年間2億2,600万円、合計で6億700万円となる。

Q 物価高騰などにより、保育園では給食費が年

間2,400円、小学校では8,550円、中学校では9,500円値上がりした。

今年度は保育園、小中学校共に市が半額補助するが、補助がなくなれば、急激な負担増となり、少子化が加速することは必至である。国の責任で給食費を無償化するよう強く要求するとともに、それまでの間は市が負担し、子育てを応援すべきと考える。本市は、来年度以降の給食費をどうしていくか。

A 現時点では、4月以降の半額補助実施は考えていない。原材料費や光熱費等の物価高騰の状況、それを受けての国・県の動向及び他自治体の動向を注視しつつ、限りある財源を有効に活用するため、総合的に判断していく。





副学籍制度について

平床 健一 議員



Q 特別支援学校に通う児童生徒が、居住する地域の小中学校に副次的な籍を置き、地域の一員として共に学ぶ副学籍制度という仕組みがあるが、稲沢市の現状は。

A 特別支援学校は県立校であるため、愛知県教育委員会と連携・協力して制度を構築する必要がある。令和5年度現在、県内で副学籍制度は導入されていないため、本市においても副学籍制度を実施している学校はない。

Q 現在、稲沢市で行われている居住地校交流を進展させ、稲沢市単独で副学籍制度を採り

入れ実施することはできないか。

A 県立の特別支援学校との連携・協力が必要となるため、市独自で実施することは難しいと考える。しかしながら、障害の有無に関わらず、共に学び合い、支え合う共生社会の実現に向けて、子どもたちが共に活動することは大変意義があると考えます。これからも副学籍制度の構築を含め、居住地での交流が充実できるよう、愛知県教育委員会に働きかけていきたい。また、特別支援学校に就学している児童生徒が地域とのつながりをもつために、居住地校交流の意義について市内小中学校に改めて丁寧に説明するとともに、特別支援学校との連携強化を図り、居住地校交流がより積極的かつ円滑に行われるよう進めていく。



少子化に歯止めをかける施策について

創生会
網倉 信太郎 議員



Q 「子育て・教育は稲沢で！」をスローガンにかかげる本市の少子化対策の考え方は。また、今後激化する自治体間競争に勝ち残るための具体的な取り組みは。

A 少子化対策については、『稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略』において、「第2子、第3子が生まれる環境を創ります」を基本目標に掲げ、「手厚い子育て支援体制の構築」や「子どもが健やかに育つ保育・教育環境の整備」などの実現に向け、様々な施策に取り組んでいる。

その中で、県内でも先進的な本市の取り組み

として、昨年度から開始した保育園等の紙おむつ提供事業や、今秋から実施する保育園等に入園していない2歳までの子どもを対象とした乳児おむつ用品等配布事業がある。今後も子育てに要する費用負担の軽減に努めていく。このような給付事業を引き続き進めるとともに、安心して子育てができる環境整備や子どもが健やかに育つ学習機会の提供などにも、多角的に取り組んでいくことが肝要であると考えます。

きめ細やかな相談支援体制を構築することで子育ての負担感の解消を図る。また、子育て家庭を地域で支える取り組みを拡充し、出生数増を図るとともに、市外からの子どもを産み育てる年齢層の人口流入に繋げるよう、施策の発信にも取り組んでいく。



9 月 定 例 会 議 決 結 果

議案番号	件 名	議決結果
議案第53号	稲沢市中小企業振興基本条例の制定について	全会一致 可決
議案第54号	稲沢市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する 条例について	全会一致 可決
議案第55号	稲沢市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響 調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条 例について	全会一致 可決
議案第56号	稲沢市火災予防条例の一部を改正する条例について	全会一致 可決
議案第57号	総合文化センター等解体工事の請負契約の締結について	全会一致 可決
議案第58号	稲沢市汚泥再生処理センター（仮称）建設工事の請負契約 の締結について	全会一致 可決
議案第59号	稲沢市道路線の廃止について	全会一致 可決
議案第60号	稲沢市道路線の認定について	全会一致 可決
議案第61号	令和4年度稲沢市水道事業会計利益の処分について	全会一致 可決
議案第62号	令和4年度稲沢市公共下水道事業会計利益の処分について	全会一致 可決
議案第63号	令和5年度稲沢市一般会計補正予算（第4号）	全会一致 可決
議案第64号	令和5年度稲沢市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
議案第65号	令和5年度稲沢市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
議案第66号	令和5年度稲沢市後期高齢者医療特別会計補正予算 （第1号）	全会一致 可決
議案第67号	令和5年度稲沢市病院事業会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
議案第68号	令和5年度稲沢市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
議案第69号	稲沢市公の施設における指定管理者の指定について	全会一致 可決

議案番号	件 名	議決結果
認定第1号	令和4年度稲沢市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数 認定
認定第2号	令和4年度稲沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 について	賛成多数 認定
認定第3号	令和4年度稲沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定につ いて	賛成多数 認定
認定第4号	令和4年度稲沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認 定について	賛成多数 認定
認定第5号	令和4年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別 会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
認定第6号	令和4年度稲沢市病院事業会計決算認定について	全会一致 認定
認定第7号	令和4年度稲沢市水道事業会計決算認定について	全会一致 認定
認定第8号	令和4年度稲沢市公共下水道事業会計決算認定について	全会一致 認定
認定第9号	令和4年度稲沢市集落排水事業会計決算認定について	全会一致 認定
報告第14号	令和4年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	—
報告第15号	令和4年度決算に基づく資金不足比率の報告について	—
報告第16号	専決処分の報告について	—
請願第4号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度 の堅持及び拡充を求める請願	全会一致 採択
同意案 第3号	人権擁護委員の推薦について	全会一致 同意
同意案 第4号	教育委員会委員の任命について	全会一致 同意
意見書案 第3号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度 の堅持及び拡充を求める意見書	全会一致 可決

同意案の詳細

- ・人権擁護委員（任期：令和6年4月1日～令和9年3月31日）
杉原 利秋 氏、三輪 政春 氏、宅見 直巳 氏
- ・教育委員会委員（任期：令和5年10月1日～令和9年9月30日）
森 誠子 氏

意見書の提出先

- ・内閣総理大臣、内閣官房長官、
文部科学大臣、財務大臣、
総務大臣

賛否が分かれた議案等

議案番号	創生会										市民クラブ						公明党 稲沢市 議団	会派に 属さない 議員								
	杉 山 太 希	平 野 賀 洋 子	北 村 太 郎	黒 田 哲 生	近 藤 治 夫	津 田 敏 樹	服 部 礼 美 香	大 津 丈 敏	東 野 靖 道	吉 川 隆 之	木 村 喜 信	網 倉 信 太 郎	長 屋 宗 正	服 部 猛	出 口 勝 実	六 鹿 順 二	岡 野 次 男	富 田 和 音	志 智 央	木 全 信 明	星 野 俊 次	加 藤 孝 秋	朽 本 敏 子	平 床 健 一	曾 我 部 博 隆	
認定 第1～4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※出口勝実議員は議長のため採決に加わりません

(○は賛成、●は反対)

議長をはじめとする役員改選を行いました。改選の結果は下記表のとおりです。

議長  六鹿順二	副議長  津田敏樹	監査委員 (議会選出)  志智 央
---	---	---

新しい常任委員会委員等の構成

◎委員長、○副委員長

常 任 委 員 会			議会改革推進 特別委員会	議会運営委員会 (議員政治倫理審査会兼務)
総務委員会	文教厚生委員会	経済建設委員会		
◎木村喜信 ○平床健一 山田崇夫 鵜野大助 北村太郎 吉川隆之 六鹿順二 志智央 曾我部博隆	◎星野俊次 ○近藤治夫 小柳彩子 土岐優子 杉山太希 日比野貴子 鈴木純子 服部俊夫 津田敏樹	◎朽本敏子 ○平野賀洋子 平野泰弘 大野紀之 岡野次男 黒田哲生 服部礼美香 木全信明	◎吉川隆之 ○北村太郎 土岐優子 杉山太希 服部俊夫 朽本敏子 志智央 星野俊次	◎服部礼美香 ○岡野次男 平床健一 平野賀洋子 黒田哲生 朽本敏子 木全信明 曾我部博隆

広 報 広 聴 委 員 会	◎黒田哲生 鈴木純子 近藤治夫 木村喜信	○杉山太希 岡野次男 服部礼美香 朽本敏子	日比野貴子 服部俊夫 吉川隆之 星野俊次
---------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

※市議会だよりの編集、発行は下線の委員のみ

土地開発公社役員	監 事	志 智 央		
	理 事	平野泰弘 津田敏樹	平野賀洋子	近藤治夫
都市計画審議会委員		山田崇夫 日比野貴子	大野紀之 北村太郎	土岐優子
国民健康保険運営協議会 公益代表委員		小柳彩子 服部俊夫	鵜野大助 星野俊次	鈴木純子

令和5年度(上半期:4月~9月) 政務活動費収支報告

(単位:円)

	創生会	市民クラブ	公明党稲沢市議団	曾我部博隆	平床健一
交 付 額	1,920,000	600,000	240,000	120,000	120,000
利 息	5	2			
調査研究費	1,377,562	163,056	93,237		
研 修 費					
広 報 費				114,870	
資料作成費					
資料購入費		30,030	56,430	5,130	16,830
合 計	1,377,562	193,086	149,667	120,000	16,830
残 額	542,443	406,916	90,333	0	103,170

※所属議員に対し、月額2万円を交付しています
※残額は、市へ返還しています

傍聴席のイスが 新しくなりました!



庁舎建設時から使用しておりましたイスを全て新調しました。

新しくなったイスで傍聴してみませんか。皆様のお越しをお待ちしております。

会議録と本会議の 様子をご覧ください。

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、図書館や各市民センター内の図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようになっています。

また、会議録と本会議の録画映像は、市のホームページからパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけます。

本会議の録画映像については、下記の二次元コードを読み取り、ご覧いただくこともできます。



次回の定例会は

12月6日(水)開会

質疑・一般質問

- ・12月11日(月)
- ・12月12日(火)
- ・12月13日(水)
- ・12月14日(木)(予備日)

常任委員会

- ・12月15日(金)総務委員会
- ・12月18日(月)文教厚生委員会
- ・12月19日(火)経済建設委員会

閉 会

- ・12月22日(金)

※各日とも午前9時30分から開会します。日程の詳細は市議会ホームページに掲載しております。傍聴もできますので、お気軽にお越しください。日程は変更する場合がありますので、議会事務局までお問合せください。

次回の議会だよりは令和6年2月発行予定です。

発行/稲沢市議会
編集/広報広聴委員会
〒492-8269 稲沢市稲府町1
TEL 0587-32-1459 / FAX 0587-32-1124

※本誌は全ページUDフォントを使用しています。